

コミュニケーションを重視した盲学校高等部のWeb情報収集

－ニュースリーダー・RSSリーダーを活用した情報授業の実践研究－

横浜市立盲学校 教諭（情報教育代表）松田基章 akira@netpro.ne.jp

学校Webサイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/ss/yokomou/>

キーワード研究テーマWebサイト <http://www.yokomou.ed.jp/cec2005/>

“視覚障害”，“情報教育”，“RSSリーダー”，“Webアクセシビリティ”

ITの進化で、最近のWebは、blog等のサイトが多くなり、スクリーンリーダーで読みにくいサイトが増えてきており、また、それと同時に、マスコミのニュースや地域情報などの関連情報をまとめて検索し、読むことができるニュースリーダーやRSSリーダーのが出現して人気が出てきている。これらは、一般の方にとっても便利な機能であるが、障害者にとっても、障壁ををなくす一つ的手段となると思われる。気軽に音声でニュースやエンターテイメントの情報や地域情報、買い物情報などを取得できることは、バリアの解消につながるだけでなく、時間の短縮、障害の壁を乗り越える一つの方法になるでしょう。もちろん、今後のユニバーサルデザインの視点で、高齢者や一般の方にとっても便利な機能であり、急速な普及が考えられ、これらについて検証していく。

情報の授業の中で、生徒と話しながら情報収集をして、通常のWeb検索とニュースリーダー等のソフトウェアを使った検索の違いや利点・欠点の相違を半年にわたって調べている。一つは、音声スクリーンリーダーの種類の違いでの、音声読みの状況に違いがあるかどうかや数種のソフトウェアの利点・欠点などを調べている。また盲学校メーリングリストやチャットなどを通じて、支援団体の力を得て、情報交換をしている。

課題・対策

一般社会でも、ニュースリーダー系のソフトウェアは種類や数が、この半年で急速に伸びてきており衰退も激しい。また急速な普及によるネット回線への負担も問題になってきている。今後の社会の変化を考えて、モバイル・携帯電話などでの情報検索・情報収集・選択の方法について考え、視覚障害者が社会参画をする上での、ICT利用について生徒と一緒に考察していきたい。特に、これらのソフトウェアの問題点や利点・欠点またトラブル等を回避する方法など、視覚障害者に取ってより使いやすいソフトウェアが世の中に出現し、それらが誰もが使いやすいソフトウェアへの改善が進めばいいと思います。RSS発信などを含めてWebアクセシビリティの観点で使いやすいサイトや使いにくいサイトについて調べ、今後も成果を、まとめてWeb掲載・発表していく予定である。

【参考サイト】

MMニュース <http://www.am-corp2.com/mm-news/index.html>

MYNEWS <http://www.aok-net.com/products/mynews.htm>

携帯版ニュースリーダー <http://reader.goo.ne.jp/i/index.html> PC版 <http://reader.goo.ne.jp/>

「情報バリアフリーのための情報提供サイトへようこそ」（トップページ）：

<http://www2.nict.go.jp/ts/barrierfree/>

「みんなが使えるホームページの作り方」：

<http://www2.nict.go.jp/ts/barrierfree/accessibility/minna/index.html>

視覚障害者の音声読み上げに関するアンケート

<http://www.aao.ne.jp/user/usersvoice/index.html>

【補足】RSS（Rich Site Summary）IT用語辞典 <http://e-words.jp/> より

別名：Really Simple Syndication, RDF Site Summary

Webサイトの見出しや要約などのメタデータを構造化して記述するXMLベースのフォーマット。主にサイトの更新情報を公開するのに使われている。

RSSで記述された文書には、Webサイトの各ページのタイトル、アドレス、見出し、要約、更新時刻などを記述することができる。RSS文書を用いることで、多数のWebサイトの更新情報を統一的な方法で効率的に把握することができる。

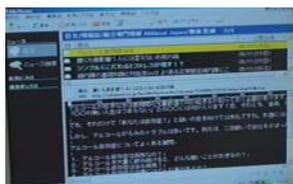


図1 RSSリーダーの画面

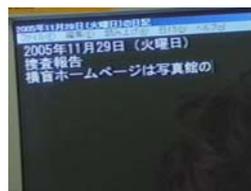


図2 毎回報告書を記録しているメモ帳